

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	大腸癌 Panitumumab + Sotorasib療法		臨床区分	抗癌剤適応分類	登録日	2025年11月5日												
疾患名	大腸癌		<input checked="" type="checkbox"/> 日常診療 <input type="checkbox"/> 単施設自主研究 <input type="checkbox"/> 他施設自主研究 <input type="checkbox"/> 市販後臨床研究 <input type="checkbox"/> 治験	<input type="checkbox"/> 進行・再発化学療法 <input type="checkbox"/> 術後化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法 <input type="checkbox"/> 局所療法 <input type="checkbox"/> その他	1クール期間	14日												
診療科名	消化器内科				実施回数	/回												
登録医師名	住井 遼平																	
適応	がん化学療法後に増悪したKRAS G12C変異陽性の大腸癌																	
Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日										注意コメント	
							day1	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
1	生理食塩液	100	mL	点滴静注	メイン		●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	血管確保用 ※開始から終了までECGモニターを装着すること
2	生理食塩液 ベクティビックス点滴静注	100 6	mL mg/kg	点滴静注	側管	60min※	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1)ﾊﾞｸﾃﾐｯｸｽ投与終了後、1時間は経過観察すること。 経過観察は2回目以降省略可 2)ｲﾝﾌｧｲﾙﾄﾞｰを使用すること 3)ﾙﾏｹﾗｽの処方を確認すること
3																		

備考欄

※生理食塩液で希釈後の点滴溶液中の本剤の最終濃度は10mg/mLを超えないこと。本剤は、60分以上かけて点滴静注すること。ただし、1回投与量として1,000mgを超える場合は、日局生理食塩液で希釈し約150mLとし、90分以上かけて点滴静注すること。  
※本レジメンはフッ化ピリミジン、オキサリプラチン、イリノテカンによる治療歴が必要

参考文献

Sotorasib plus Panitumumab in Refractory Colorectal Cancer with Mutated KRAS G12C

減量・中止基準

<Panitumumab> Grade3以上の皮膚障害発現時の用量調節の目安			
皮膚障害の発現時の本剤の投与量	本剤の投与	投与再開の基準	本剤の用量調節
6mg/kg	投与延期	6週間以内にGrade2以下に回復	6mg/kgまたは4.8mg/kg
4.8mg/kg	投与延期	6週間以内にGrade2以下に回復	3.6mg/kg
3.6mg/kg	投与中止	-	-